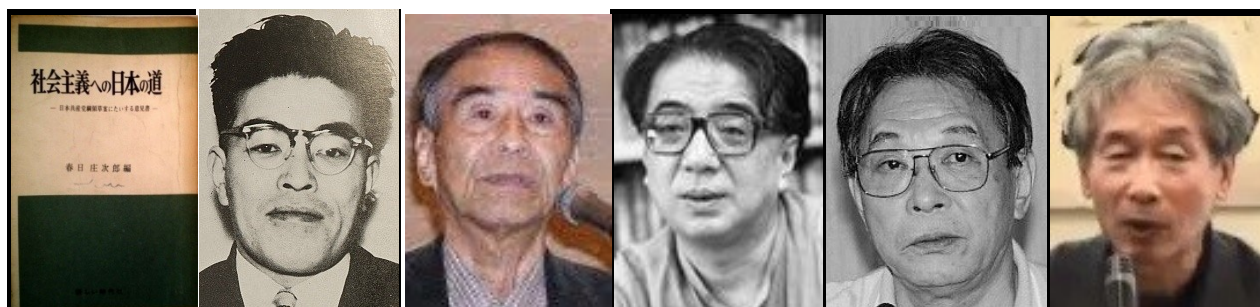


# ★共産主義労働者党(共労党)の歴史

(改訂版/2022年8月3日)



## 1958年

7月21日～8月1日日本共産党第7回大会～「行動綱領」「党章草案」論争/書記長—宮本顕治

## 1959年

5月×日『現代の理論』創刊(第1次/井汲卓一、長洲一二、安東仁兵衛、佐藤昇)

## 1961年

7月25日～31日日本共産党第8回大会—「綱領」の決定

8月10日『社会主義への日本の道—日本共産党綱領草案への意見書』(春日庄次郎)

8月28日機関紙「新しい路線」創刊

9月29日青年学生運動革新会議(青学会議)—結成(構造改革派)

10月7日～9日社会主義革新運動準備会—結成

(議長/春日庄次郎・副議長/山田六左衛門・事務局長/内藤知周 機関誌『新しい時代』機関紙「新しい路線」)

## 1962年

2月5日～8日社会主義革新運動準備会第3回全国委員会—分裂

(議長/西川彦義、事務局長/内藤知周～春日庄次郎委員長辞任)



(5月2・3日統一社会主義同盟(統社同)代表委員/春日庄次郎、山田六左衛門、東谷敏雄、事務局長/村田恭雄・安東仁兵衛、小寺山康雄、大森誠人/機関紙「構造改革」→「平和と社会主義」→「先駆」/社会主義学生戦線・フロント全国委員会)

8月×日日本共産主義青年同盟—結成(社革新系)

## 1963年

(6月2・3日統社同第2回全国大会)

6月×日社会主義革新運動準備会全国委員会第3回総会(社会主義革新運動/議長/内藤知周)

9月15日民主主義学生同盟(民学同)第1回創立大会

(11月×日平和と社会主義をめざす学生同盟—結成/民学同分派)

## 1964年

1月×日『現代の理論』(第2次)創刊(安東仁兵衛/現代の理論社・井汲卓一社長/

中岡哲郎、森田桐郎、沖浦和光)

(1月×日統社同機関紙「平和と社会主義」創刊)

(5月21日日本共産党、志賀、鈴木除名/部分的核実験停止・4.17ゼネスト評価)

(6月30日日本のこえ同志会—結成/志賀義雄、鈴木市蔵・機関誌『日本のこえ』)

(7月4・5日統社同第3回全国大会)

(12月2日日本共産党(日本のこえ)—結成)

(12月×日日本社会党第24回大会「日本における社会主義への道」採択)

## 1965年

(11月×日統社同第4回大会)

## 1966年

3月21日共産主義者の結集と統一をめざす全国会議(組織統一準備委員会/委員長・志賀義雄)—  
不成立(日本共産党(日本のこえ)+社会主義革新運動+社会主義統一有志会 ~志賀義雄・いいだもも・

樋口篤三・吉川勇一・内藤知周・春日庄次郎・武藤一羊・栗原孝夫)

(10月×日統社同第5回大会)

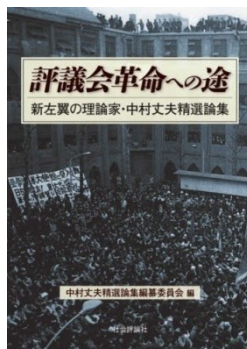
11月12~14日共産主義労働者党大会(前期)/共労党結党委員会—選出



日本のこえ内ソ連派(志賀義雄、鈴木市蔵G、神山茂夫・中野重治G、小野義彦G脱落(ソ連共産党の評価)

12月5日「統一」創刊号(207号「新しい路線」改題・共産主義労働者党結党委員会/編集長—由井誓・統一新聞社)

## 1967年



(1月22日社会主義労働者同盟(社労同)—結成総会

(中村丈夫・藤原春雄・小泉尚男・丸山茂樹・機関誌紙『新左翼』『社労同通信』—『労働者権力』『新左翼』)

## 2月5日共産主義労働者党(共労党)—結成大会(後期)

議長/内藤知周、書記長/いいだもも、中央常任委員/内藤知周、長谷川進(家坂哲男)、一柳茂次、由井誓(以上社革新)いいだもも、戸原酸二、原宏、樋口篤三(以上こえ)、武藤一羊(小野弘)、栗原幸二(柴田三郎)、大塚正立(堀田三郎)(以上無党派) /機関紙「統一」

## 2月13日「統一」215号(共労党結党宣言)

2月×日民学同(左派)結成

10月×日「一〇・二一に山崎君虐殺抗議全国ゼネネストで立ち上ろう！」(全国学生自治会共闘大阪府学連・兵庫県学連/島根大農自/岡山大連自/立命大文・営自/富山大経自/新潟大医・歯・工自/法政大社自/慶応全塾自治会・日吉中執・日吉理財学会/全都ベトナム反戦学生共同闘争委員会

(11月×日統社同第6回大会)

## 1968年

### 2月×日共労党第2回大会

3月26-27日民学同第9回大会(民学同左派—形成)

9月11日「スパルタクス」(共労党大阪市大細胞機関紙)創刊

9月30日東京地区反戦連絡会議—結成(世話人代表—樋口圭之介、機関誌『反帝青年戦線』) 福島平和(中核派)、高橋茂夫(共産同)、東間 徹(ML派)、柘植洋三(第四インター)、早瀬志郎(社労同)、矢馬朔(共労党)、朝日健太郎(統社同)

## 1969年

1月17日全国労働運動左翼活動者会議(主催—電通労研・長崎社研・大阪) 松本礼二・榎原 均(共産同)、陶山健一(革共同中核派)、今野求(第四インター)。樋口篤三・いいだもも(共労党)、荒川亘(社労同)、高田麦(統社同)、菊水望(阪神共産主義者協議会)

3月27日民学同第11回大会—分裂

3月29日プロレタリア学生同盟—結成(委員長・茂山正広/構造改革派学生運動からの決別)

4月7日「統一」第319号「プロレタリア学生同盟結成宣言」

4月×日「プロレタリア戦線」NO1(プロ学同大阪市大支部)

4月21日「共同声明」—革命的共産主義者同盟・共産主義者同盟・日本マルクス・レーニン主義者同盟 日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル日本支部)・社会主義労働者同盟・共産主義労働者党・統一社会主義同盟・全学連・反戦青年委員会・沖縄闘争学生委員会・三里塚反対同盟・砂川基地反対同盟・マルクス主義学生同盟中核派・社会主義学生同盟・全国学生解放戦線・全国反帝学生評議会・国際主義共産学生同盟・共産主義学生同盟・プロレタリア学生同盟・社会主義学生戦線フロント・東京大学全学共闘会議・教育大学全学闘争委員会・中央大学中央闘争委員会・日本大学全学共闘会議・他27団体。

(5月×日統社同第7回大会)

5月×日共労党第3回大会/書記長/いいだもも、副書記長/白川真澄(西村光雄)、中央常任委員・武藤一羊(小野弘)、樋口篤三、栗原幸二(柴田三郎)、吉川勇一(田所進)、山口義行~「構造改革路線」転換党内右派(内藤知周、松江澄、長谷川浩/広島、佐賀、富山県委委員会/首都・大阪・京都の一部組織)離脱

(5月×日労働者党全国連絡会議—結成/長谷川浩)

(5月×日統社同第7回大会)

**7月15・16日安保粉碎全国学生共闘会議—結成**

(フロント(社会主義学生戦線)、プロ学同(プロレタリア学生同盟)、構改派系全共闘)

**8月×日プロレタリア学生同盟第2回大会**

(9月21日～23日統社同第8回大会(小寺山康雄議長、高田麦書記長))

(10月×日統社同機関紙「先駆」184号

に改題(「平和と社会主義」)

**11月13日佐藤訪米実力阻止総決起集会(扇町公園・プロ学同 - 岡大生・糟谷孝幸君虐殺)**

**12月14日糟谷君虐殺抗議人民葬(日比谷野音・全国全共闘1万2千名)―**

中核派・学生解放戦線・反帝学評・社会主義学生戦線と革マル派衝突

(……労働運動研究所/設立・機関誌『労度運動研究』/代表理事―長谷川浩)

## 1970年

**1月19日「統一」第352号「革命戦士の共通の色赤ヘルに」**

**2月×日共労党第4回大会(議長/いいたもも・書記長/白川真澄)**

**3月28・29日反帝学生戦線全国大会**

**5月18日『プロレタリア戦線』NO2(プロレタリア学生同盟)**

**8月×日プロレタリア学生同盟第3回大会**

(12月×日統社同第9回大会―日本共産主義革命党に改称/機関誌『団結』)

## 1971年

**3月×日三里塚現闘団—結成**

**3月×日プロレタリア学生同盟第4回大会**

**9月16日三里塚・東峰十字路事件**

**12月×日共産主義労働者党～三分解**

●共労党(赤色戦線派)/武藤一羊・いいたもも・戸田徹・笠井潔・設楽清嗣/機関誌紙『紅旗』『赤火』

●共労党(プロレタリア革命派/白川真澄—機関紙「統一」)

●労働者党全国委員会/樋口篤三—機関紙「革命の炎」

**12月×日共労党プロレタリア革命派—結成**

**12月21日「統一」停刊**

## 1972年

**4月1日共労党プロレタリア革命派/「統一」地方合同版発行**

**7月14日共労党プロレタリア革命派総決起集会**

(8月×日統社同第8回中央委員会総会/整風運動)

**11月×日プロ学同三里塚現闘団—再建**

**11月15日糟谷孝幸虐殺3周年糾弾党政治集会**

**12月×日共産主義労働者党(赤色戦線)—結成**

## 1973年

**3月×日共産主義労働者党全国協議会—結成(共労党プロレタリア革命派の改組/  
機関誌「蒼生」機関紙「統一」)**

4月1日「統一」再刊準備号(共労党全国協議会)

「革命ベトナムに呼応する春季大攻勢を闘い抜き、ベトナム革命派の隊列を建設せよ！党再建五回大会に勝利しよう！」

「共産主義労働者党全国協議会結成声明」

5月14日プロレタリア青年同盟全国協議会(プロ青同)—結成(プロ学同の改組)

**1974年**

3月×日労働者党全国委員会—結成(旧共労党・樋口篤三・機関誌『革命の炎』)

5月16日内藤知周一死去(享年59歳)

(8月×日統社同第10回大会/第9回大会綱領に対する態度)

**1975年**

**1976年**

4月9日春日庄次郎—死去(享年73歳)

**1977年**

(1月×日統社同第11回大会第1回会議)

5月6日三里塚を闘う青年先鋒隊—結成(プロ青同)

**1978年**

3月24日山田六左衛門—死去(68歳)

3月26日三里塚開港阻止決戦・空港包囲大行動総決起集会 三里塚・管制塔突入占拠闘争

(三里塚を闘う全国青年学生共闘+三里塚を闘う青年先鋒隊+全国労働者共闘会議)

**1979年**

10月×日『季刊クライシス』(社会評論社)創刊(編集長/いいだもも)

(11月×日統社同第11回大会第2回会議)

**1980年**

**1981年**

(11月×日統社同第13回大会/社会主義的潮流の形成)

**1982年**

5月×日「共産主義者の連合について広範な討論をよびかける」(共労党全国協議会)

10月30日「連合し、合流し敵を撃つ」シンポジウム(福岡市—共労党系)

**1983年**

3月8日三里塚空港反対同盟実行委員会—「幹事会」否認、石井新二事務局次長解任「三・八分裂」—北原派(北原鉦治)と熱田派(熱田 一)に分裂～支援党派、大衆団体の分裂 三里塚反対同盟(北原派)支持 革共同全国委員会・革命的労働者協会・共産同(戦旗派)・共産同(蜂起派)

3月×日三里塚反対同盟(熱田派)支援声明 第四インターナショナル日本支部、プロレタリア青年同盟、戦旗・共産主義者同盟 共産同赫旗派(東峰団結小屋)、共青同(住母屋団結小屋) 首都社研(共産同プロレタリア派・田辺団結小屋)、坂志岡団結小屋 共産同全国委員会(白柙団結小屋)、労学連(神田五大学共闘・浅川団結小屋) 労闘—労活評・人民連帯(中郷団結小屋)、中谷津団結小屋(「前衛」派) 労農合宿所・労青团(東峰団結の家)、木の根団結小屋(三支労) 官並団結小屋(日学戦)、三里塚野戦病院・・17 団体

## 1984年

(1月×日統社同第13回大会/時代に立ち向かう党建設)

2月25日長谷川浩一死去(享年76歳)

## 1985年

## 1986年

## 1987年

(2月×日日本共産主義革命党第14回大会—フロント(社会主義同盟)に改称)

## 1988年

(3月×日フロント(社会主義同盟)第15回臨時大会/社会主義連合参加決定)

## 1989年

## 1990年

1月×日『季刊クライシス』(社会評論社)第40号(終刊)

(12月×日フロント(社会主義同盟)第16回全国大会/政治局廃止)

## 1991年

## 1992年

8月22・23日自治・共生・連帯の社会主義をめざす政治連合—結成 共同代表/小寺山康雄・白川真澄・高田 健・機関紙「OP-al」 共労党全国協議会、フロント、第四インター、共産同プロレタリア戦旗派、他

## 1993年

## 1994年

(4月×日フロント(社会主義同盟)第17回全国大会)

## 1995年

## 1996年

8月31~9月1日 共労党全国協議会第十七回臨時大会—組織・機関誌紙名改称「自治・連帯・エコロジーをめざす政治グループ蒼生」(代表・宮部彰/機関誌紙『蒼生』『グローカル』)

## 1997年

1月×日機関紙「グローカル」創刊(「統一」改称)

(11月×日フロント(社会主義同盟)第18回全国大会)

## 1998年

4月24日安東 仁兵衛—死去(笹田 繁・享年70歳)

## 2000年

(11月×日フロント(社会主義同盟)第19回全国大会/政治宣言)

## 2002年

12月×日コレコン(これからの社会を考える懇談会)—結成、機関誌『コレコン』

(アクト社、同時代社、労働者運動資料室、蒼生、フロント、労共党)

## 2004年

10月×日『現代の理論』(第3次)創刊(言論NPO・現代の理論/沖浦和光)

## 2005年

(4月×日フロント(社会主義同盟)第20回全国大会/社会改革プラン)

## 2006年

11月13日プロレタリア青年同盟(PYL)/ブログ「格差と戦争にNO！」開設

## 2009年

(6月×日フロント(社会主義同盟)第21回全国大会/対抗社会に向けて)

12月26日樋口篤三(元「労働情報」編集長)—死去(享年81歳)

## 2011年

3月31日いいだもも(飯田 桃)—死去(享年85歳)

## 2012年

8月×日自治・連帯・エコロジーをめざす政治グループ・蒼生全国会議(解散決議—緑の党に合流)

9月22日 研究所テオリア発足総会&シンポ(機関紙「テオリア」)

10月10日「テオリア」第1号

## 2013年

(5月×日フロント(社会主義同盟)第22回全国大会/市民、緑、リベラルの連携)

## 2015年

1月15日松江澄—死去(享年85歳)

### ●社会主義革新運動……………61年・議長—内藤知岡

機関誌『討論』第1号～第5号

機関誌『マルクス主義』第6号(『討論』改題)～22号(1963)

機関誌『新しい路線』第1号～17号(新しい路線社 1963～)

機関紙「新しい路線」第1号～206号終刊(「統一」に継続編集長—由井誓・新しい路線社 1963～1966)

機関誌『革新』第1号～3号

(社会主義労働者協会阪神地区委員会→社会主義革新運動阪神地区・杉本昭典 1963～1965)

機関紙「統一戦線」第1号(社会主義革新運動広島県委員会 1963)

『新しい時代』(新しい時代社 1961)

### ●共産主義者組織統一準備会(1966—)

機関誌『共産主義者組織統一準備委員会解放』第1号～7号(1966)

### ●共産主義労働者党(共労党)—1966～1970・議長—内藤知岡、書記長—いいだもも、

武藤一羊、白川真澄、樋口篤三・春日庄次郎

機関紙「統一」第207号(「新しい路線」改題)～413号(編集長—由井誓・休刊・統一新聞社)

機関紙「人民の戦争」第1号～(共産主義労働者党三里塚現地闘団・)

機関紙「スパルタクス」第1号～(共産主義労働者党大阪市大支部)

機関誌『革命の武装』第1号(共産主義労働者党中央理論委員会 1970)

季刊『拠点』第1号・2号(栗原幸夫・いいだもも他編集・盛田書店 1969～1970)

『七〇年闘争への展望 七〇年シリーズ①』(白川真澄・統一新聞社 1969)

『フランス五月の教訓 七〇年シリーズ②』(武藤一羊・統一新聞社 1969)

『七〇年にむかって 七〇年シリーズ③』(いいだもも・統一新聞社 1969)

『新左翼とはなにか』(武藤一羊編・自由国民社 1970)  
『七〇年への革命的試論』(いいたもも編・三一書房 1968)  
『われらの革命』(いいたもも・勁草書房 1969)  
『現代世界革命と七〇年代』(いいたもも編・東洋出版 1970)  
『プロレタリア世界革命 序説』(いいたもも・三一書房 1971)  
『七〇年代階級闘争の地平 労働者(反乱)の原点』(白川真澄・三一書房 1970)  
『オルグ』(共労党中央労働者委員会/工人社 1971)

●民主主義学生同盟(左派)……………68年

機関紙「民主主義の旗」～(民学同)  
機関紙「変革の戦士」第1号～(民学同市大支部)

●プロレタリア学生同盟(プロ学同)……………69年—民学同の改組

機関誌『プロレタリア戦線』NO1～2(プロレタリア学生同盟 1969～)  
機関紙「プロレタリア戦線」第1号～(プロレタリア学生同盟市大支部)  
機関紙「プロレタリア戦線」第1号～(プロレタリア学生同盟京都府委員会)  
機関紙「直接民主主義」第1号～(大阪大学直接民主主義学生戦線)  
『弾劾』(糟谷孝幸虐殺事件告発を推進する会 1970)  
『弾劾』(糟谷孝幸虐殺事件告発を推進する会 1976)  
『昏い死の告知に答えよ集』(岡山大学法学科二の一闘争委員会・コムネの会)  
『抑圧するものすべてに災いあれ』(糟谷君虐殺を許さない会 1976)  
『戦士は土の下でなお詩い続ける 69戦士糟谷同志追悼講演集』  
(糟谷孝幸同志追悼10周年集会実行委員会 1979)

●プロレタリア高校生同盟

●全国高校生闘争連合(全高闘連)

●共産主義労働者党(赤色戦線)……………(72年・いいたもも・笠井潔・戸田徹・武藤一羊)

機関誌『紅旗』創刊号(共産主義労働者党首都圏委員会 1972)  
機関紙「赤火」第1号(通巻420号 1973～「赤火」編集局)～  
機関紙「三星紅旗」第1号～(静岡地区赤色戦線→「三星紅旗」編集局 1975)  
機関紙「現闘通信」第1号～(赤色戦線・三里塚現闘団 中谷津団結小屋)  
『三里塚 勝利と変革の思想』(戸田 徹編・三一書房…)。  
『マルクス葬送』(戸田 徹・青土社 1983)  
『戸田徹遺稿集 彼方へ 霊の解放と革命の夢』(戸田徹遺稿集編集委員会 1985)  
「階級形成論の方法論的諸前提」(笠井潔/黒木龍思・『拠点』第一号 1969)  
「戦術＝階級形成論の一視点」(黒木龍思・『情況』1969)  
「日本革命思想の転生」(上・中・下)(黒木龍思・『情況』1972・73)  
『テロルの現象学 観念批判論序説』(笠井潔・先品社 1984)

●労働運動研究所……………69年・代表理事—長谷川 浩

『労働運動研究』第1号～384号(編集—由比 誓 1969～2001)  
『労働運動研究』復刊1号～復刊39号(2001～2014)



●労働者光全国連絡会議……………69年(長谷川 浩・内藤知周・松江澄)

●労働者光全国協議会……………

機関紙「労働者党通信」第1号～

『内藤知周著作集—日本社会主義革命の探求』(内藤知周・亜紀書房 1977)

●建設者同盟……………77年

機関紙「建設者」第1号～〇号(1977～1981)

●労働者光……………77年・松江澄・原全五

機関紙「労働者」第1号～70号(労働者党全国委員会 1975～1981)

●統一労働者光……………81年(統一労働者光全国委員会議長—松江澄/労働者光+建設者同盟)

●労働者革命組織準備委員会……………

機関誌『労働者革命』第1号～3号

●共産主義労働者光労働者革命派……………72年

機関紙「労革ニュース」第1号～6号(1972)

●労働者光全国委員会……………74年(樋口篤三)

機関紙「革命の炎」第1号～101・102号(1972～1983)

『右翼く労線統一)反対・階級的労働運動の構築をめざして』(樋口篤三・柘植書房 1981)

『めしと相互扶助』(樋口篤三・第三書館 2002)

『樋口篤三遺稿集』(第1巻「革命家・労働運動家列伝」同時代社 2011)

『樋口徳三遺稿集』(第2巻「オルグ・労働運動・戦略」同時代社 2011)

●共産主義労働者光(プロレタリア革命派)……………73年(白川真澄)

機関紙「統一」第〇号～

「諸同志への報告—共労党の三分裂にあたって」(1972)

『ベトナム革命の新たな政治的勝利』(1973)

『共産主義労働者党と闘争の歴史』(共労党プロレタリア革命派・1973)

『「第三世界」解放革命との合流のために』(共労党プロレタリア革命派・工人社)

『「現代世界」と解放としての革命』(工人社 1978)

『革命論学校パンフ』NO3(マルクス・レーニン主義の基本文献を読む)(工人社 1978)

『近代資本主義批判の視座のかくとかのために(論文集)』(統一編集局/1978)

『革命の攻勢戦略・序説』(共労党プロレタリア革命派・工人社)

『潮流をこえた総結集を克ちとりプロレタリアートの党を創造しよう—10・30 シンポジウムの記録—』(1983)

『新しい社会形成の原理と構想は何か』(増補/工人社 1989)

●共産主義労働者光(全国協議会)……………(白川真澄 1973～)

機関紙「統一」地方合同版第1号～10号(九州・岡山・大阪・京都・愛知 1972～1973)

機関紙「統一」再刊準備号～492号(工人社 1973～)

機関誌『蒼生』第1号～〇号(共産主義労働者党全国協議会 1981～)

『世界共産主義革命にむけて われわれの綱領的・戦略的立場』(共労党全国協議会 1985)

●プロレタリア青年同盟(PYL)……………73年プロ学同の改組

機関誌『コンミュン』第1号～33号

WEBブログ「格差と戦争のNO!」(PYL・プロレタリア青年同盟・・)

機関紙「篝火」第1号～〇号(プロレタリア青年同盟三里塚現闘団・・)

『鉄塔決戦へ』(プロレタリア青年同盟現闘団 1976)

●三里塚を闘う青年先鋒隊.....

●自治・連帯・エコロジーをめざす政治グループ蒼生.....(1996年～2012年)

〈共労光(全国協議会)改称・白川真澄、宮部 彰〉

機関誌『蒼生』第〇号～9号(工人社 1996～2001)

機関紙「グローバル」第493号(「統一」改題)～774号終刊(工人社～2012)

『もうひとつの革命 近代批判と現代の思想』(白川真澄・社会評論社 1982)

『脱国家の政治学 市民的公共性と自治連邦制の構想』(白川真澄・社会評論社 1997)

●フォーラム90s.....90～98年

『フォーラム90s』第1号～21号(フォーラム90s・1990～1992)

『月刊フォーラム』22号～89号(社会評論社 1992～1997)

●オルタ・フォーラムQ.....98～05年

『QUEST』第1号～38号終刊(松岡 到・ロゴス社 1998～2005)

『希望のオルタナティブ QUESTからの問題提起』(『QUEST』別冊NO1・白順社 2003)

●緑の光.....(2012・長谷川羽衣子・松本なみほ・長谷川平和・中山均)

●研究所テオリア.....2012年

機関紙「テオリア」第1号～